

平成15年七戸研究施設一般公開(七戸町産業文化祭)報告

七戸町では毎年11月初めの連休に、町立体育館を会場に『産業文化祭り』が開催されます。七戸研究施設も町の一員として祭りの一日に参加し、当所の研究内容の一部を紹介し一般公開としました。

企画としては、祭りに訪れる町内の方々に興味を持ってもらうため、動物に触れることと、なるべく身近な話題をやさしく解説することに主眼をおきました。

企画概要

(1)小動物ふれあいコーナー

柵の中に動物(ウサギ2羽、モルモット2匹)を放し、動物とじかに触れあう体験をし、動物の扱い方を学ぶ。

(2)動物のお医者さん体験

ウサギ、モルモット、ヒトの心音を聴診し動物種によって心拍数が異なることを体験する。ウサギの耳で体温を測る。

(3)動物の血球を観察してみよう

ヒツジの血液をスライドグラスに塗抹、染色し、赤血球、白血球を観察する。

(4)風船

風船でイヌ、ウサギなどの動物を作り、来訪者に供する。

(5)パネル展示

人獣共通伝染病、身近にある有毒植物1-3、動物の心電図、獣医師の仕事

当日は風もない小春日和の一日で大勢の町民が祭りに訪れ、当所の展示にも立ち寄ってくれました。

小動物ふれあいコーナーは幼児～小学校低学年の子どもが絶えることがなく、大好評でした。小学校高学年生は「動物のお医者さん体験」や「血球観察」に興味を持ってくれ、大人の見学者からはBSEについて質問がありました。

当日は臨時職員を含む職員14名が半日～1日担当し、常

時8～10名の職員が対応しましたが、子どもが一時に大勢来たときには人手が足りなくなるほどでした。

つくばの一般公開とは見学者層も異なるため、研究内容を詳しく説明するような企画は難しいと思いますが、動物衛生研究所に対する理解を深めてもらうため、こうした地域の一員としての活動も重要と思った一日でした。

(七戸研究施設一般公開実行委員)

